

保護者様

我孫子市立根戸小学校
校長 蒲野 毅

令和7年度 学校教育活動(児童・保護者・教職員)アンケート集計結果のお知らせ

春寒の候、皆様には益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、12月に実施した教育活動アンケート(児童・保護者・教職員)の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。また、昨年度同様、自由記述欄には温かい感謝の言葉をたくさんいただき、今後の励みとなりました。一方で、具体的なご意見や改善点等も多くいただきましたので、今後の学校運営の参考にさせていただきます。

また、昨年に引き続き児童、教職員はタブレット等を使用しての回答、保護者は家庭でインターネットを使用しての回答として実施しました。

各アンケート集計結果の分析

各項目の分析については、「あてはまる・概ねあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない」の4つの観点のうち「あてはまる」と「概ね～」の合計値の割合(%)として記載し分析しました。

1 小中一貫教育について

	児童	保護者	教職員
① 久寺家中学校区では小中一貫教育の充実に努めている	/	76	81

我孫子市では、小学校を軸に幼稚園、保育園、中学校とのつながりをスムーズに行い、中学校区で「育てたい15歳の児童像」に向け幼保小・小中一貫教育を行っています。根戸小学校では、小中一貫教育として、Abiカリキュラムや、久寺家中学校区のカリキュラムとして福祉教育を行っています。また、学校だよりやホームページで活動の様子等を周知してきました。これにより保護者のポイントは昨年度及び一昨年度より向上しています。しかし、十分な周知とはいえないため、小学校6年間の教育の積み重ねが小中一貫教育として実践されていることについて、保護者の皆様及び教職員に引き続き周知をしていきます。

2 学校生活全般について

※実際のアンケートでは、対象者に向けて言葉を変更しています。

	児童	保護者	教職員
① 学校教育目標を知っている。	90	84	100
② 子どもは、楽しく学校へ通っている	93	86	100
③ 子どもは、意欲的に学習し内容を身につけている	94	90	100
④ 自分や相手に思いやりを持つ心が育まれている	96	97	98
⑤ 子どもは、学校行事や体験的な活動に積極的に取り組んでいる	91	96	100
⑥ 子どもは、家庭や地域の中で進んで挨拶をしている	89	80	88
⑦ 子どもは、タブレットなど、ICT機器を使った学習を行っている	92	85	98
⑧ 子どもは、きまりやルールを守ろうとする意識が育っている	97	97	98
⑨ 学校は、子どもの心身の健康や学習、子育てについて保護者が相談できる機会を設けている	88	89	100
⑩ 学校は、子どもの悩みや相談に親身に対応し、いじめ防止に努めている	88	94	100
⑪ 学校は、熱心に授業に取り組み、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導をしている	95	95	97
⑫ 学校は、教育活動の内容や児童の様子について学校便りやホームページ等で伝える努力をしている	84	94	97

⑬学校は、安心、安全について積極的に取り組んでいる	93	97	100
⑭学校、地域、保護者が連携して子どもを育てようとする見守り活動をしている	93	94	98

① 学校教育目標を知っている（児童2%↑ 保護者↑6% 教職員±0%）

学校目標の「よく遊び よく学び 思いやりのある子」については、全校朝礼、掲示物、学校だよりホームページ等で児童や保護者にお知らせしてきました。このような取り組みもあり、児童だけでなく保護者の皆様にも認知されてきました。子どもたちには、合言葉である「笑顔でチャレンジ」の方をよく覚えてくれたのかもしれない。今後も学校教育目標をよりわかりやすく児童に話していくとともに、児童が目標を達成できるように努力していきます。教職員についても十分に学校教育目標を浸透できるよう、引き続き様々な機会・方法で周知していきます。

② 子どもは、楽しく学校へ通っている（児童↓1% 保護者↓7% 教職員±0%）

福祉関連の体験活動をはじめ、様々な活動が授業の中で行われてきました。児童は、体験的な活動について大変意欲的に取り組んでいます。その一方で児童、保護者のポイントは昨年度より低くなっています。学校生活において苦手意識や悩みをもっている児童もおり、1割程度の児童にとっては自己評価が低くなっていると考えられます。ICT 機器の使用や教科担任制及び専科指導、校内教育支援センター（つくしルーム）の使用等を通して、個別最適化の学びを一層推進していきたいと思えます。6年生の全国学力学習状況調査においては今年度も全国平均を大きく上回っているため、体験活動を知識に結び付け、更に意欲的に学習に取り組めるように努めてまいります。

⑦ 子どもは、タブレットなど ICT 機器を使った学習を行っている（児童↑7% 保護者↑10% 教職員↑3%）

今年度、我孫子市の第2次教育 ICT 整備に伴い、児童用タブレットや学習支援ソフトなどが刷新され、児童の ICT 環境が大きく変わりました。これまで以上に個別最適化された学習を推進することができ、児童、保護者ともにポイントが向上しました。児童一人ひとりの理解度に合わせて学習できる「ドリルパーク」や協働的な学習に活用できる「オクリンクプラス」など、これまで以上に充実したソフトや機能が加わりました。これまで使用してきた学習支援ソフトも、使いやすくなったことで低学年も活用しやすくなりました。今後も学校と家庭の双方で、効果的な使い方やルールについて考えていきます。

⑪学校は、熱心に授業に取り組み、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導をしている（児童±0% 保護者↑10% 教職員↓3%）

学校では児童一人ひとりの実態に合わせるため、担任だけでなく多くの教職員が関わって組織で指導しています。ICT 機器も学年に応じて、積極的に活用してきました。また、校内研修の充実に努め、算数科を中心に教職員の授業力を向上させ、全国学力学習状況調査においても全国平均を上回りました。これらにより、昨年度よりも保護者のポイントが向上しました。今後も児童一人ひとりの実態に合わせてきめ細やかな指導ができるように工夫していきます。

⑫学校は、教育活動の内容や児童の様子について学校だよりやホームページ等で伝える努力をしている（児童↑1% 保護者↑9% 教職員↓3%）

この質問項目については、昨年度まで保護者の皆様からご意見を多数いただきました。2学期から ICT 環境が変わり整備されたことにより、保護者のポイントが向上しました。また、教育活動の様子だけでなく、手紙等もデジタル配信が可能となりました。ホームページを移行したことにより、ご不便をおかけしている面もありますが、従来よりも見やすく使いやすいホームページ作成に努めてまいります。

【終わりに】

今年度は創立50周年を迎え、児童の愛校心を育むための行事等もあり、子どもたちは楽しく学校に通うことができました。学習面においても校内研修や ICT 機器の活用を通して、児童の実態に合わせた授業を行い、学力が向上しました。また、学校から積極的に情報発信したことが、保護者や地域の方々に教育活動を理解していただくことにつながりました。今後も教育方針や児童の学校の様子を伝えながら、家庭・地域と連携し児童一人ひとりのより良い成長のために尽力してまいります。

保護者の皆様からの貴重なご意見は、我々教職員にとってとてもありがたく励みになります。これからも相談を直接していただいたり、学習参観や行事、ボランティア等で学校に足を運んでいただいたりすることで、保護者の方々とお会いして直接コミュニケーションを取る機会を増やしていきます。今年も、保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力をいただきありがとうございました。